

平成27年度

第1回 秋田県渋滞対策推進協議会 資料

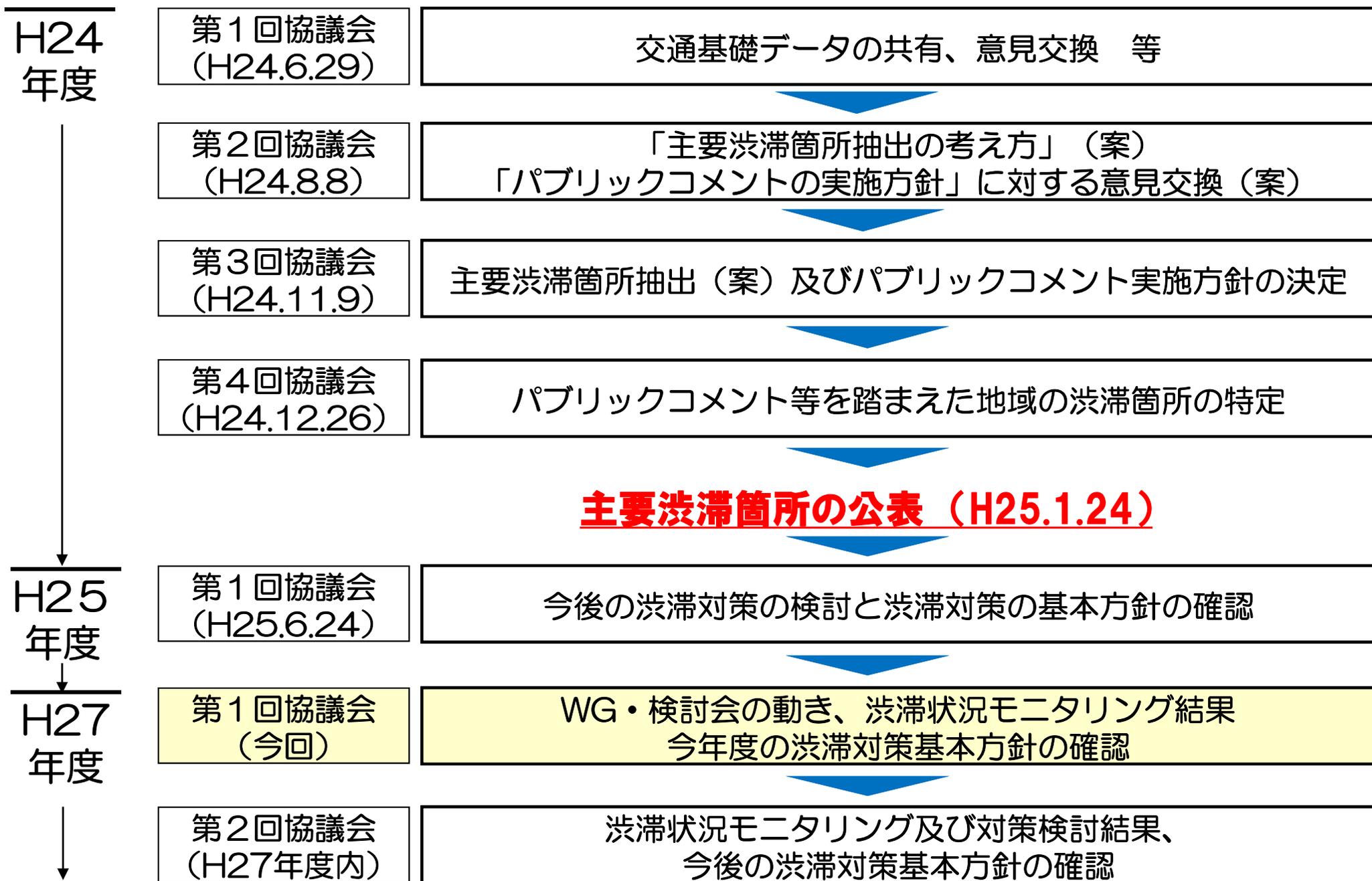
平成27年8月25日

秋田県渋滞対策推進協議会

【目次】

1.	秋田県渋滞対策推進協議会のこれまでの経緯	1
2.	前回協議会（H25.6）での検討事項	2
3.	主要渋滞箇所におけるモニタリング結果	3
4.	各地区における渋滞対策検討の経緯	4
5.	主要渋滞箇所における対策後のモニタリング結果	5
6.	主要渋滞箇所における開通後の交通状況（速報）	8

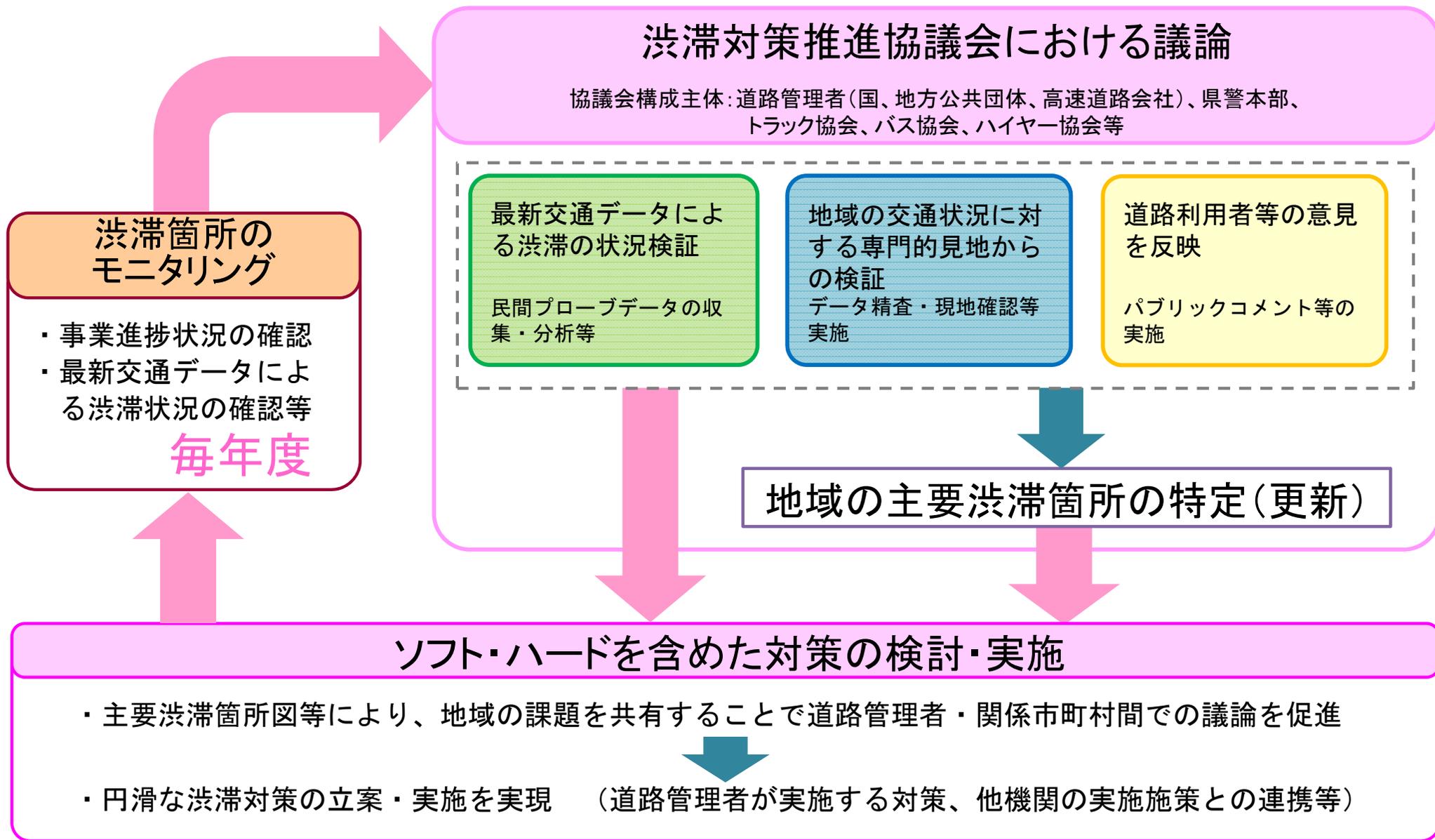
1. 秋田県渋滞対策推進協議会のこれまでの経緯



2. 前回協議会(H25.6)での検討事項

■県内の交通渋滞緩和・解消に向け、以下のマネジメントサイクルでの実施の可否について検討

- ・最新の交通データ等を基に特定された主要渋滞箇所を踏まえ、渋滞対策を検討・実施
- ・毎年度、主要渋滞箇所をモニタリングの上、随時見直しを実施する



3. 主要渋滞箇所におけるモニタリング結果

■秋田県内における主要渋滞箇所は以下のとおり。

◎一般道路：62箇所



- エリア※1：1エリア（12区間（25箇所）と4箇所を含む）
- 区間※2：15区間（23箇所を含む）
- 箇所：10箇所

◎高速道路：無し

※1 エリアとは・・・

都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、主要渋滞箇所が集中する区域 ⇒ 秋田県内では、秋田市中心部エリアのみ

※2 区間とは・・・

速度低下箇所が連続し、複数の主要渋滞箇所を含む区間

■主要渋滞箇所の速度変化をモニタリング（H26年度）

■秋田県内62箇所の主要渋滞箇所解消箇所は無し

⇒渋滞対策の完了や近隣ネットワークの整備が進んだ箇所 11箇所

⇒渋滞対策や近隣ネットワークの整備により効果が見られた箇所 11箇所

※民間プローブデータによるデータ比較

【交差点部】

主要渋滞箇所特定時：H22.9月～H24.6月、モニタリング時：H26.4月～6月

【山間部等】

主要渋滞箇所特定時：H23.9月～H24.7月、モニタリング時：H25.9月～H26.7月

主要渋滞箇所の選定要件を満たしている箇所
秋田県内 62箇所
主要渋滞箇所の選定要件を満たさない箇所
秋田県内 0箇所



渋滞対策や近隣ネットワークの整備により効果が見られたところ
秋田県内 11箇所

4. 各地区における渋滞対策検討の経緯

【秋田県北部】

◎能代河川国道事務所管内における渋滞対策検討会

⇒平成27年2月25日開催

⇒検討会メンバー：国・県・関係市町 他

⇒検討会内容

①主要渋滞箇所におけるモニタリング結果報告

②今後の取り組みについての確認

→改善が見られなかった箇所における要因分析と対策案の検討

【秋田県中央部】

◎秋田市中心部エリア渋滞対策検討ワーキンググループ

⇒平成27年6月15日開催

⇒検討会メンバー：国・秋田県・秋田県警・秋田市・トラック協会・バス協会・ハイヤー協会

⇒検討会内容

①主要渋滞箇所におけるモニタリング結果報告

②今後の取り組みについての確認

→渋滞対策箇所における更なる効果検証の実施

→ソフト対策（車線運用・信号現示調整等）による検討の提案

→主要渋滞箇所62箇所にとらわれず、現状で渋滞が懸念されている箇所のピックアップ

【秋田県南部】

◎秋田県南部における渋滞対策検討会を実施

⇒平成27年8月21日開催

⇒検討会メンバー：湯沢河国・県振興局・関係自治体

⇒検討会内容

①主要渋滞箇所におけるモニタリング結果報告

②秋田県南部における渋滞現況報告

③今後の取り組みについての確認

→モニタリング箇所の検討（継続・新規）

→今後の検討会の予定

5. 主要渋滞箇所における対策後のモニタリング結果

- 平成25年1月の主要渋滞箇所公表以降、以下の路線において渋滞対策を実施し完了している
【秋田県事業】

区分	路線名・箇所名	事業概要	開通・実施時期
ハード施策	(主) 秋田天王線【(都) 新屋土崎線】 山王工区	4車線拡幅	平成25年7月

■ハード施策事業概要

(主) 秋田天王線【(都) 新屋土崎線】 山王工区

○秋田市街地を南北に縦貫する幹線道路

○主要渋滞箇所である山王十字路交差点周辺の渋滞緩和を目的に、3車線を4車線に拡幅

■渋滞対策後のモニタリング結果

最新の民間プローブデータ等を用いて、当該箇所のモニタリングを実施

→平日・休日共に山王から茨島方面に向かって、改善が見られる。

■今後の対応

今後もモニタリングを継続し、対策後の効果等について検証する。

▼渋滞対策実施箇所



●山王五丁目交差点～山王十字路間の旅行速度が平日休日とも約1.5倍に向上

【事業概要】

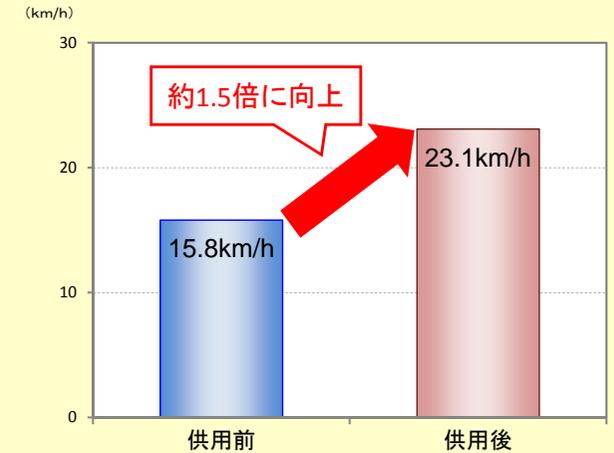
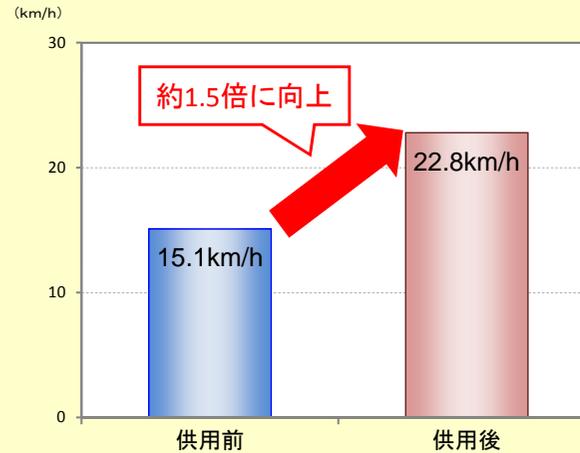
全体延長 L=980m

全体幅員 W=22.2~30.0m(3車線→4車線拡幅)

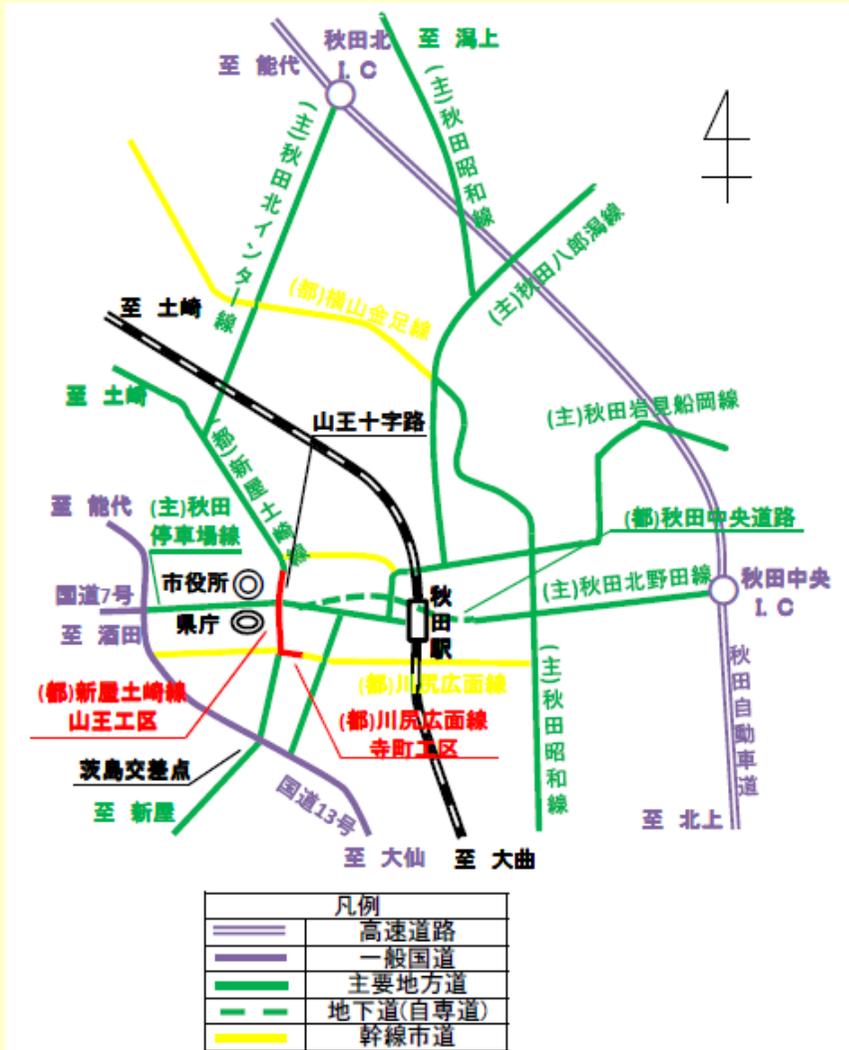
▼拡幅区間の旅行速度変化(山王五丁目交差点～山王十字路間)

<平日>

<休日>



※民間プローブデータより
供用前:H22.9~11月 12時間平均 供用後:H26.4~6月 12時間平均



【供用前(3車線)】



(H19年 撮影)

【供用後(4車線)】



(H25年8月 撮影)

6. 主要渋滞箇所における4車線運用後の交通状況（速報）

国道7号 新屋跨道橋交差点（秋田市）

主道路：国道7号、従道路：市道浜街道2号線

■ 渋滞要因

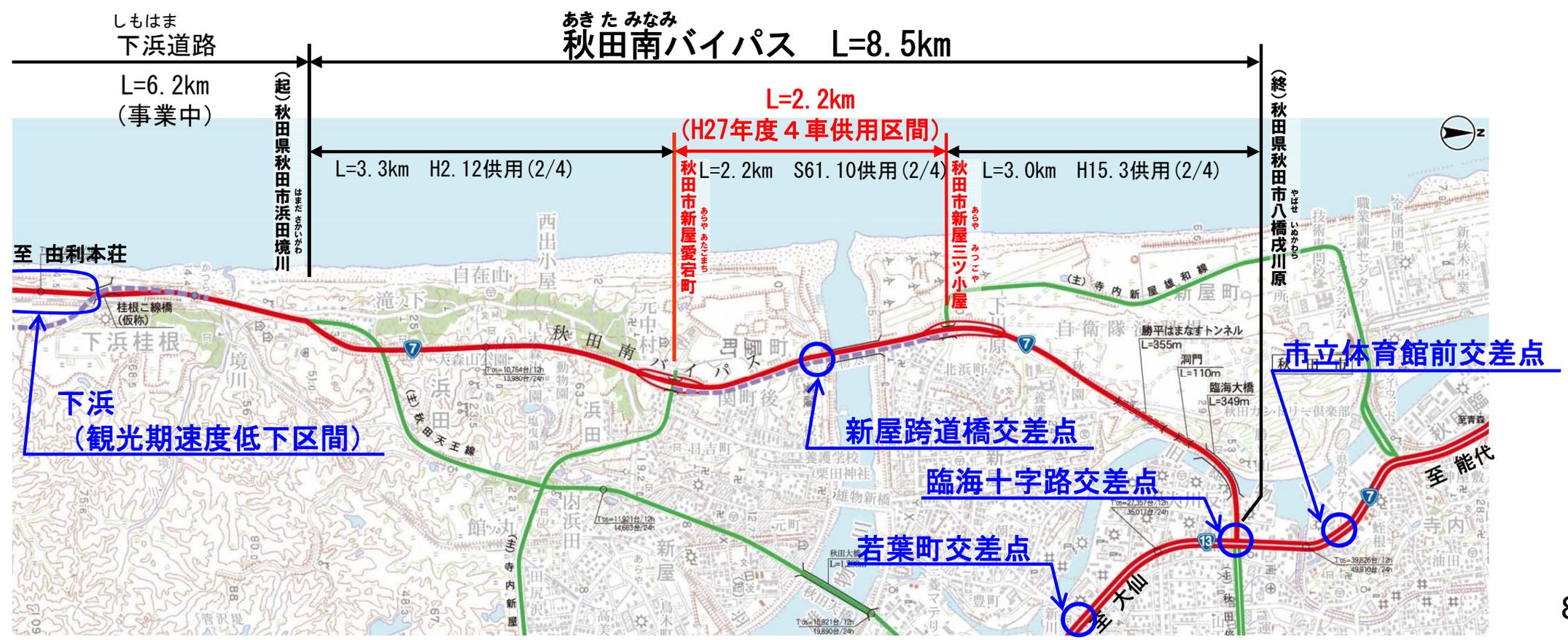
- ① 新屋地区住宅地から国道7号に接続される市道との交差点
- ② 国道7号下り線において通勤時間帯における渋滞が慢性的に発生、市道から国道への流入困難

■ 渋滞対策

◎ 当該交差点を含む国道7号における4車線化（L=2.2km）を実施

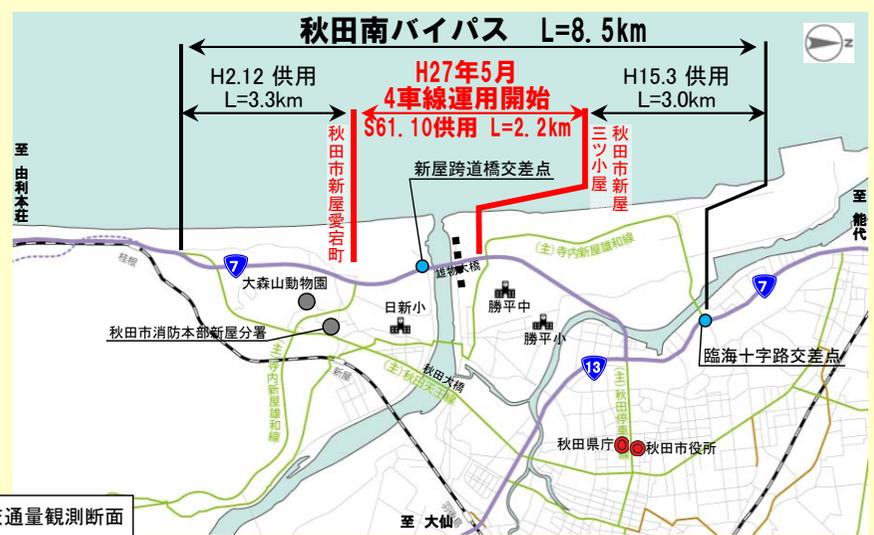
■ モニタリング結果

◎ 通勤時間帯における渋滞が解消、旅行速度も向上し円滑な走行が可能

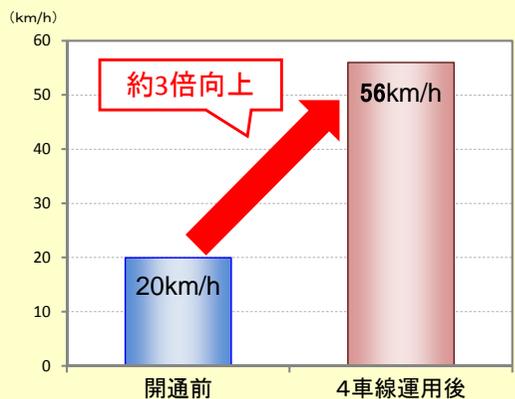


①通勤時間帯の渋滞が解消し円滑な走行が可能となり旅行速度が向上

●主要渋滞箇所(新屋跨道橋交差点)の渋滞が解消し、旅行速度は3倍向上
(20km/h→56km/h)

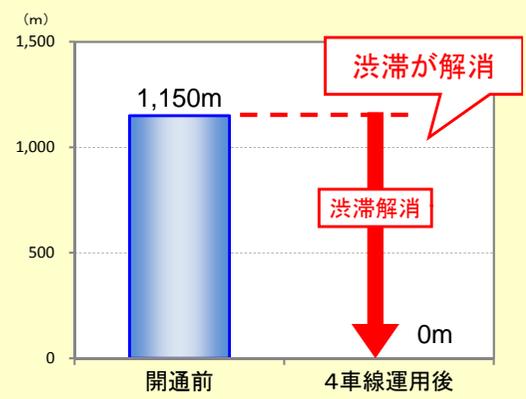


▼旅行速度の変化(4車線運用区間)
<由利本荘市方向から秋田市街方向:朝7時台>



※旅行速度観測日(プローブカー走行調査による)
開通前 : H26.9.4(木)
4車線運用後: H27.7.9(木)

▼新屋跨道橋交差点の渋滞長の変化
<由利本荘市方向から秋田市街方向:朝ピーク>

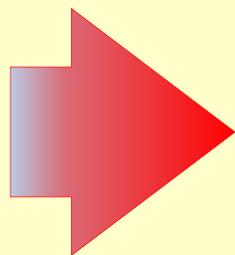


※渋滞長観測日(人手観測)
開通前: H26.9.4(木) 4車線運用後: H27.7.9(木)

【新屋跨道橋交差点付近 開通前】



(H26年9月4日8時台撮影)



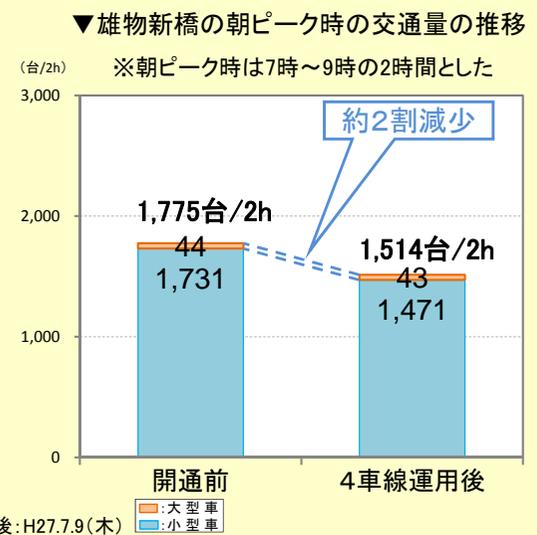
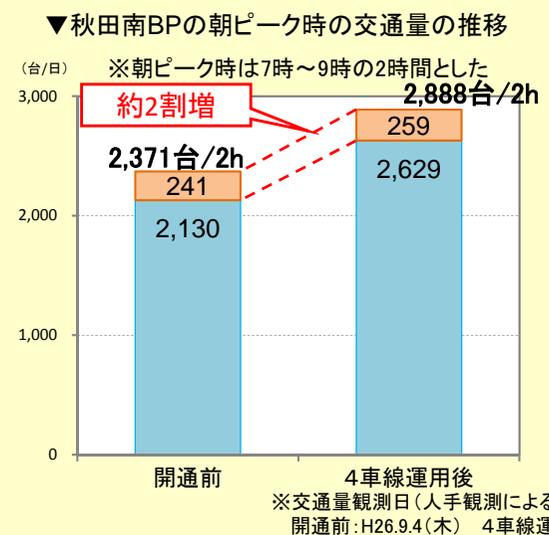
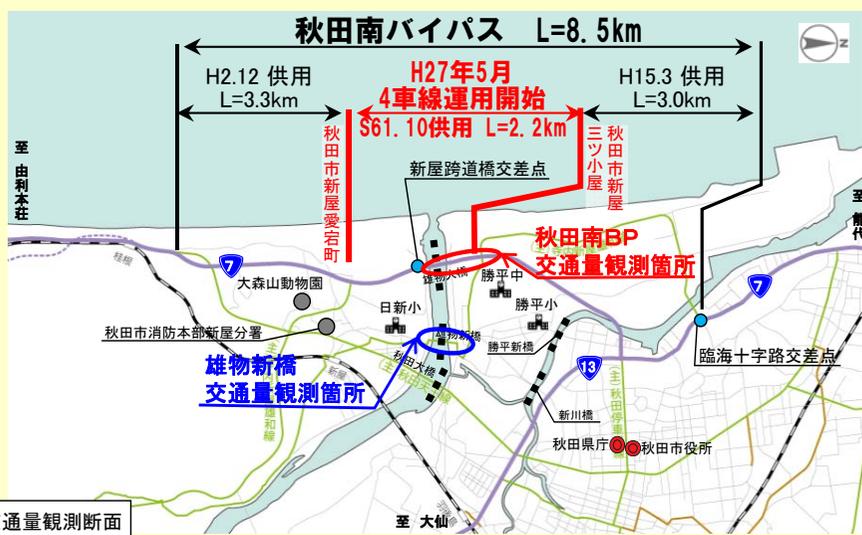
【新屋跨道橋交差点付近 4車線運用後】



(H27年7月27日8時台撮影)

②生活道路の交通量が減少し市街地の交通環境が向上

●秋田南バイパスの交通量が幹線道路として約2割増加する一方、新屋地区中心を通過する(主)寺内新屋雄和線等の交通量が減少し、市街地の交通環境が向上



【雄物新橋 開通前】



【雄物新橋 4車線運用後】

